

イノベーションレクチャーのご案内

# 地域サイズで必要とされる、まちびとプロジェクトが、「まちのにわ」をつくるとしたら

2018年12月21日（金） 14:50—16:20【4限】

広島修道大学 協創館（8号館 地下1階） 【スタジオA】

北広島町では、「役場周辺地域のまちづくり構想（担当：建設課）」を検討している。この構想案で提示している「コアゾーン」は現在の「千代田グラウンド」に位置し、「町全体の中心核に位置付け、各ゾーンと連携することで多彩な活動・交流等を生み出す場」、「自分の家の庭のように『憩う』ことができる『まちのにわ』として、誰もがいつでも気軽にふらりと訪れる場」として設定し、役場周辺地区都市再生整備計画事業（H30～H32）により、必要な整備を行う予定となっている。

この『まちのにわ』が、自ずと人々が集い交流し、まちの未来のことを考え、行動する空間となっていくには、何から取り組めば良いのだろうか？

それについてのヒントを得るために、久留米市において、“じぶんサイズのプロジェクト”をつくる、『まちびと会社 VisionArea』を立ち上げた、共同代表の おきな まさひと氏 より、まちでの“じぶんサイズのプロジェクト”の生み出しかたを語っていただきます。とくに、久留米シティプラザ（子どもたちと、まちと、文化の明日を元気にするためにうまれた）で、親と子どもが共に育つソーシャルスペース《カタチの森》の運営から、まちのひとに生まれた新たな活動や取り組みを紹介していただいて、『まちのにわ』をどうやって生み出していけば良いかを考察していきます。



## ■講師 おきな まさひと 氏

（まちびと会社 VisionArea-ビジョナリアル-共同代表）

福岡県久留米市を軸に「じぶんが好きなことを、好きな場所で、好きな人たちとの暮らす」じぶんサイズな人たちを「まちびと」と呼び、地域で無理のないプロジェクトづくりを仕事とし、各地の地域コーディネーター活動を行う。

主催：広島修道大学 まちのにわプロジェクト

ディレクター：三浦浩之（国際コミュニティ学部 教授）

問い合わせ先：広島修道大学 ひろしま未来協創センター 082-830-1114 [gakukou@js.shudo-u.ac.jp](mailto:gakukou@js.shudo-u.ac.jp)